

【管理運営状況公表様式】

令和5年度 青森県総合社会教育センターの管理運営状況

県所管課	教育庁生涯学習課
指定管理者	学び・生かすあおもりグループ (代表者である団体) 青森コミュニティビジネス株式会社 (構成員) 一般社団法人青森夢創造機構 青森放送株式会社
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
施設の使用許可に関する業務	青森県総合社会教育センター条例及び同規則の規定を遵守し、公正な貸室業務に努めた。 また、利用者サービスの向上のため、開所時間を19時まで延長し、施設の利用促進が図られていた。
施設の維持管理に関する業務	日常的な清掃業務等の実施や、必要な法定検査やその他各種検査の実施等、適切な施設の維持管理に努めた。 また、施設内外の巡回等の防犯対策を適切に実施し、安心して利用出来る施設環境の維持に努めた。
施設の業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・あおもり県民カレッジ運営業務 各地域の連携機関と協力体制を組み、地域のニーズに合った学習機会を提供した。県内全域において、学友会（カレッジ学生の自主運営による団体）活動に対する支援と協働により、学習活動の振興に努めた。 ・インフォメーションプラザありす運営業務 窓口対応時間を19時まで延長して県民サービスの向上を図ったほか、ラーニングスペースとして開放し、快適に学習活動がしやすい空間づくりに努めた。 また、利用者カードを発行し、カードを提示することで、空き研修室を自主学习室として利用できる取組の実施や、エントランスホール等へ各種作品展示も行った。
自主事業	自主講演会や大学公開講座等を開催し、県民の学びの機会や施設利用の充実を図った。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
研修室等利用者数 (人)	H 3 0		85,512	(前指定管理者実績)	
	H31/R1		53,584		
	R 2		23,664		
	R 3		23,726		
	R 4		37,165		
	R 5	40,000	44,768	111.9%	120.5%
インフォメーション プラザありす来 場者数 (人)	H 3 0		21,596	(前指定管理者実績)	
	H31/R1		20,986		
	R 2		16,702		
	R 3		11,882		
	R 4		12,544		
	R 5	12,600	12,065	95.8%	96.2%
あおもり県民カレ ッジ学生数 (人) ※年間学生数	H 3 0	22,016	23,452	(前指定管理者実績)	
	H31/R1	24,500	24,233		
	R 2	25,200	25,322		
	R 3	26,353	26,860		
	R 4	28,860	29,122		
	R 5	29,622	29,729	100.4%	102.1%
<p>【増減理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修室等利用者数 開所時間の延長や土曜日と重なる祝日の開所により、利用者の便宜の提供に努めたほか、問い合わせに対しては親切・丁寧に対応することで利用の促進につながった。 ・インフォメーションプラザありす来場者数 窓口での丁寧な対応、フリーWi-Fi環境の改善など、来場者がより利用しやすい環境づくりに努めたものの、利用者増にはつながらなかった。 ・あおもり県民カレッジ学生数 主催イベントや各地区での講座開催時での周知や、学生募集のポスター及びチラシをリニューアル（子どもカレッジコースについては新規に作成）し、広報等による普及啓発に努めた結果、学生数の増加につながった。 					

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	<p>コロナ禍で中止していた県民カレッジ連携機関連絡会議を再開するとともに、各地域キャンパス講座等の円滑な実施のためにチラシ作成支援や講師選定等に係る準備の協働に努め、地域キャンパス講座については概ね当初の予定通り開催できた。</p> <p>数年ぶりに制限のない形で開催した生涯学習フェアでは、着実に準備を進め、多くの学生ボランティアを活用し、古本交換などの新しい取組みにチャレンジした。子ども向けイベントも計画通り実施し、県民カレッジの普及啓発を図った。</p> <p>接遇研修を行うことで電話や窓口での親切・丁寧な対応を行ったほか、障がい者等の利用がある場合は、事前に勤務職員で対応を確認し、情報共有を行うなど、利用者への対応も適切だった。</p>
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	<p>1階ロビーの案内モニターは常に最新の状態で表示し、所内の掲示も定期的に整理するなど、利用者が見やすいように努めた。</p> <p>自主事業については、事業計画に沿った講座運営に取り組み、時事的にタイムリーなテーマを取り上げることで当初見込みの2倍以上の参加者数を達成した。</p> <p>ホームページに掲載している予約状況の更新頻度を上げたり、講座開催通知や報告をSNSの投稿により積極的に周知活動を行ったりして、利用促進に努めた。</p>
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	<p>事業計画に基づき、施設管理上必要な法定点検や定期検査を適切に実施したほか、毎日の巡回により異常など対応が必要な場合の情報共有などを適切に行い、安全性の確保及び良好な機能の保持に努めた。計画に基づいた毎日の清掃実施に加え、清掃時以外でも施設内外を見回りし、清潔な状態を保っていたことは特に評価したい。</p>
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	<p>施設内の定期的な巡回、危機管理マニュアルによる避難訓練の実施等、安全・安心な利用に資する体制作りに努めていた。</p>
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	<p>サービス低下とまらない範囲で経費節減に取り組みつつ、適正な指定管理料の執行に努めていた。また、使用料の徴収についても適切に処理されていた。</p>

⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	3	3	見やすいチラシの配置やホームページ更新頻度の改善など周知に努めたほか、丁寧な説明、館内環境の整備など、利用者に配慮した対応がなされており、利用者サービスの向上や学習活動支援への取組が行われ、目標達成のための努力が行われていたと認められる。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	関係法令の遵守、個人情報の保護等、適切に管理運営が行われている。
総合評価	3	3	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、これまで制限されてきた事業やイベントの開催について、新たな取組も取り入れながら着実かつ計画通りに実施を行った。 継続して利用者に対する丁寧な対応や適切な施設維持管理に努め、SNS等も活用した積極的な広報活動も実施するなど、県民サービス向上のための各種取組により、生涯学習の振興に努めており、総合的に、青森県総合社会教育センターの設置目的に則った適切な管理運営が行われている。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する